



鉄づくり千年が生んだ物語

地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定する日本遺産。「出雲國たたら風土記」は、今年で認定10周年を迎えました。今回は、安来市・雲南市・奥出雲町で組織する「鉄の道文化圏推進協議会」の取り組みを紹介します。

パンフレットで、

たたらをもっと身近に

協議会では、たたら風土記に関するパンフレットを作成し、観光施設などで活用しています。周遊に役立つ「たたらルートマップ」、地域の全体像が分かるイメージブック、たたら製鉄の基礎知識を紹介するガイドブックの3種類です。



▲3種類のパンフレット。地域巡りや、歴史学習の参考に、ぜひご覧ください。

全国の舞台で、たたらの魅力を発信

「出雲國たたら風土記」の認知度や関心を高めるため、県外のイベントに出展しています。

今年、宮崎県で開催される「日本遺産フェスティバル」や、東京での「ツーリズムEXPOジャパン」の文化庁ブースなどに参加予定です。たたら製鉄が育んだ地域の歴史や文化を、全国に発信します。



▲日本遺産フェスティバル



▲ツーリズムEXPOジャパン

問い合わせ

鉄の道文化圏推進協議会
安来市担当課

観光振興課 ☎23・3108

＝人権尊重社会の実現をめざして＝

シリーズ
人権を
考える 84

安来市人権・同和教育
推進協議会の取組
～地域部会について紹介します～

安来市人権・同和教育推進協議会とは

安来市では、同和問題をはじめ、さまざまな人権問題の解決に向けて、教育や啓発活動に取り組んでいます。その取り組みを推進するため、「安来市人権・同和教育推進協議会」を組織し、各部会に分かれて活動を行っています。

地域部会での活動

地域部会では、各交流センターが中心となり、地域の皆さんに人権について考えてもらうための活動に取り組んでいます。昨年度は、出前講座や人権教育講演会、人権標語づくり、DVD上映、男女共同参画料理教室、世代間交流活動など、各地域でさまざまな活動が行われました。

地域部会の活動例

能義地区人権・同和教育推進協議会では、2月に、誰でも参加できる「みんなの人権のつどい」を開催しました。当日は、人権の出前講座のほか、手話、歌、ギターやキーボードの演奏など、さまざまな催しが行われました。



◀つどいの様子。楽しみながら人権について考える機会となりました。

◆7月の「特設人権相談所」

開設日時 7月21日(火)9時30分～12時
場所 安来中央交流センター第3会議室

問い合わせ 人権施策推進課 ☎23-3095